

## ジンコソーラー、ベトナム最大のメガソーラーに 100MW モジュールを供給

4月22日、世界をリードする太陽光発電会社ジンコソーラー（NYSE: JKS）は、ベトナムがいままで最大のメガソーラーに 100MW モジュールを供給したと公表した。該プロジェクトが Srepok 1-Quang Minh 二つの太陽光発電所からなり、ベトナム南部（Dak Lak 省）の Ea Wer commune に位置している。



Srepok 1-Quang Minh メガソーラーが 2018 年 10 月 19 日に起工し、2019 年 1 月 21 日に稼働した。プロジェクトの敷地面積が約 120 ヘクタール、投資金額が約 9,460 万ドル。

2019 年 3 月の開会式には、ベトナム副総理の Truong Hoa Binh が出席した。「ベトナムの年間照射量は約 1900 kW に達し、この地区には潜在的な太陽エネルギー資源が豊富にある。このプロジェクトは中部地区の経済発展とエネルギー需要の重要な訴求に積極的に応えた。これからも引き続き太陽光発電に関する投資者に良い投資環境と政策を提供したい。」と Truong Hoa Binh 副総理が表示した。



「同プロジェクトを通じて、ベトナムにグリーンエネルギーを提供できるのは大変嬉しい。ジンコソーラーは高品質と信頼性の高いモジュールにより、ベトナムのメガソーラーに穏やかな高発電力を支持している。ベトナムの持続可能なエネルギー転換を助力し、もっと多いのローカルユーザーにグリーンエネルギーを提供したい。」とジンコソーラーの Chief Marketing Officer (CMO) の苗根がコメントした。

#### **ジンコソーラー (JinkoSolar Holding Co., Ltd.) について**

ジンコソーラー (NYSE: JKS) は太陽光発電産業のグローバルリーダーです。ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦 (UAE)、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービスを提供、販売。ジンコソーラーは 2018 年 12 月 31 日時点で、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、シリコンインゴットとウエハーで 9.7GW、太陽電池で 7.0GW、太陽光発電モジュールで 10.8GW の年間総発電容量がある。

ジンコソーラーは世界で 6 ヶの生産拠点があり、日本 (2) シンガポール、インド、トルコ、ドイツ、イタリア、スイス、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、チリ、オーストラリア、南アフリカ、アラブ首長国連邦、15 の海外子会社を持ち、販売チームはイギリス、ブルガリア、ギリシャ、ルーマニア、ヨルダン、サウジアラビア、南アフリカ、エジプト、モロッコ、加納、ケニア、コスタリカ、コロンビア、パナマとアルゼンチンに広がって、従業員が 1 万 2000 人以上を雇用しております。

〒104-0031

東京都中央区京橋二丁目 2 番 1 号京橋エドグラン 9 階

代表電話：03-6262-6009

FAX：03-6262-3339

ホームページ : <http://www.jinkosolar.com/index.html?lan=jp>